

千葉陸協だより



発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部 2025 年 12 月吉日発行

第 25 号

私と千葉陸上競技協会

副会長 松本 克彦

選手としては高校時代から、千葉陸上競技協会また審判員の皆様にはお世話になっていました。また、指導者としては昭和 52 年度からの参加がありました。中学校の陸上顧問として千葉の大会に野田の方から生徒と共に電車を乗り継ぎ、稲毛駅から歩くという道のり。当時、岬中学校の増田明美選手が印象に残っています。小さい身体なのに何であんなに速く走れるのだろうかとびっくりしたのを鮮明に覚えています。それを見て選手育成に燃えたのがスタートです。

千葉陸上競技協会の一員としては、平成 2 年から千葉県小中学校体育連盟陸上専門部委員長として、小中学校、そしてジュニア部門の強化を責任として活動し始めました。

当時、千葉陸上競技協会の競技の強化委員長だった成田高校滝田先生の指導の下、様々な強化活動を実施したのを思い出します。強化の費用の面でも、最新の指導理論でも実に細かく気を配っていただきました。昔から千葉県の陸上顧問には中学校も高校も各地に強い選手をつくり出してくる人がいました。職人技のように毎年必ず同じ種目ですごい記録を出してくる顧問、種目は違えど必ず全国的な選手を育てる顧問、全国各地の学校に行き指導法をつかんでくる顧問。そういう中で中学校専門部ではそのような選手を作った顧問に指導法を発表させ指導法のオープン化を目指しました。千葉や成田では強化合宿を開き、顧問同士の話し合いや交流を深め、全体の指導力の向上を図りました。また、県内各地で陸上教室を積極的に開催し、子どもたちや各校の顧問とも交流を深め、陸上競技に参加する生徒数の向上を推進しました。

その頃、選手として大活躍していた生徒が今は県内各団体や千葉陸上競技協会の強化の中心であることはとても頼もしい限りです。また、年齢が進んでも各地で昔ながらの気骨あふれる指導に取り組んでいるその頃の指導者には感謝の念でいっぱいです。おかげで世代は変わっても次々に優秀な指導者が現れ、全国、関東、国民スポーツ大会での活躍、そして日本を代表する選手が育っていく。これは千葉陸上競技協会に今も流れる「熱」と感じます。それが益々燃えさかり、更に発展することを願っています。



陸上部紹介

「印西市立西の原中学校」

本校は、千葉ニュータウンの中にある学校で、現在も住宅が増え続け、学校の生徒数も年々増加し、全校生徒769名の大きな学校になります。陸上部は50名から60名ほどの人数で活動しています。活動日は平日が週4日、土日はどちらか1日です。

私たちは「一眼・感謝・鍛錬・勝利」のスローガンを掲げ、陸上競技で強くなることはもちろん目標ですが、練習では大きな声を出し、挨拶、走って行動などによる人間形成も大きな目標にしています。総合型のチームで、棒高跳びを含めたすべての種目に力を入れ、一人一人が最も活躍できる種目を選択できるようにしています。

令和7年度は、念願の県総体男女総合優勝を果たし、関東大会では4人が入賞、全国では男子800mと女子走幅跳で4位に入賞することができました。印旛地区の総体では男女総合7連覇を達成しています。令和6年度は県総体駅伝、県新人駅伝でも入賞を果たすことができ、選手たちは大いに活躍してくれました、しかし、一番大切なことは選手一人一人が今までの自分に勝ち、それぞれの目標を達成することです。

これからも、選手が活躍する、しないにかかわらず一人一人を大切に、それぞれがより高みに至るようチーム一丸となって頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。



「東京学館高等学校」

本校は1979年に創立され、今年で47年目の学校となります。千葉県の中で歴史はまだ浅いですが、岩本・坂下両氏の活躍により陸上競技部は全国での活躍が見られるようになりました。インターハイ優勝をはじめ、国スポ（国体）やU20・U18、日中韓交流などの舞台での活躍もあります。現在では男女総勢60名を超える部員、そして今年度の高校新人大会では初となる男子総合優勝も成し遂げることができました。

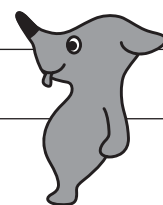
競技力の向上とともに人間性を高めることが本校陸上競技部の目標です。「褒められる人間」「応援される人間」を目指し、日々努力を積み重ねています。個人競技の側面を強く持つ陸上競技ですが、部員同士で切磋琢磨し能力を上げる、共に学びあい注意しあうことでチーム力が向上するなど、部活動でしか得られない多くの経験があります。数多くの成長をし、年々より良いチームを目指して今後も精進していきますので、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

団体紹介

千葉県陸上競技協会



千葉県 PR マスコットキャラクター チーバくん
千葉県許諾第 A287-14 号

千葉県陸上競技協会は昭和 22 年に発足し、創立 78 年目を迎えています。歴史を振り返ると、創成期は国鉄関係者が中心となって運営にあたり、その後の昭和 30 年代より川崎製鉄関係者が中心となり、昭和 49 年には本協会の是沢

正己会長が千葉陸上競技協会の理事長に就任しました。昭和 50 年代は千葉開府 850 年の記念事業として「サンスポ千葉マリンマラソン」がスタートし、大きな主催事業の運営を担い、昭和 63 年に日本陸連のハーフマラソン公認コースとなりました。同年には長年親しんだ千葉寺陸上競技場が取り壊され、青葉の森スポーツプラザ陸上競技場が新設となり、今や千葉市の陸上競技の中心になっています。平成に入り、徐々に中学校の教員が増える中、内山英夫会長・高津乙郎会長が組織強化を図り、事務局、競技部、審判部、強化部、記録部、施設用器具部、協力員という組織が固まって今に至っています。

現在本協会は桐原公夫会長のもと、年間 3 回の理事会と 2 回の企画会を行い、組織運営を進めています。令和に入りコロナ禍の中、残念ながら約 2 万人が参加していた「サンスポ千葉マリンマラソン」が終了となり寂しい思いはありますが、数多くの競技会を千葉市小中学校体育連盟の陸上競技専門部や駅伝専門部と連携して行っています。主催する公認大会としては「千葉市民陸上競技記録会」から始まり「千葉市民総合スポーツ大会陸上競技大会」「千葉市陸上競技選手権大会」等、年間 7 回の競技会を行っています。また、JFA 夢フィールドと幕張海浜公園を会場にして「千葉市民マラソン大会」や「千葉市民駅伝大会」を実施しています。さらに、「千葉市小学生記録会」をはじめ、競技者の競技力向上を目的として、「千葉市陸上競技強化練習会兼公式記録会」を年間十数回行っています。今後も市民の皆様に陸上競技のすばらしさに触れていただく機会を提供できるよう努めてまいりたいと思います。



千葉市中学校陸上競技秋季大会



千葉市小学生陸上競技記録会

トピックス

～宇野会長 秩父宮章授与～

この度、本協会の宇野裕会長が陸上競技の発展に寄与した功績が認められ、日本陸上競技連盟より秩父宮章を授与されました。おめでとうございます。



日本陸上競技連盟栄章受賞者

秩父宮章 宇野裕 千葉陸上競技協会会長
 高校優秀指導者章 石原典泰 市川学園市川高校教諭
 高校優秀競技者章 鈴木琉胤 八千代松陰高

中学優秀指導者章 林田直人 四街道北中教諭
 中学優秀競技者章 後藤大樹 四街道北中



記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者・駅伝結果



第52回全日本中学校陸上競技選手権 (R7.8.17～20 沖縄)

男子四種競技 花島正人 若松中 ①2834点
 女子100m 岡嶋莉子 入船中 ①11秒96
 女子走高跳 吉田灯織 茂原中 ①1m69
 女子砲丸投 丹千遥 小金南中 ①14m37

第94回日本学生陸上競技対校選手権 (R7.6.5～8 岡山)

男子110mH 阿部竜希 順天堂大 ①13秒25

第109回日本陸上競技選手権大会 (R7.7.4～6 国立競技場)

男子走幅跳 山浦溪斗 勝浦Jリッツ ①8m14

第79回国民スポーツ大会 (R7.10.3～7 滋賀)

少年男子A300m 東島権治 市立船橋高 ①32秒76
 少年男子A300mH 栃木匠吾 市立柏高 ①35秒42
 成年男子110mH 阿部竜希 順天堂大 ①13秒26
 少年女子B100m 横山柚希 市立柏高 ①11秒69
 少年女子A300m ハングンハル 市川高 ①38秒16
 天皇杯 9位 91点
 皇后杯 15位 32点

第71回全日本中学校通信陸上競技大会 (R7.7.5 千葉)

女子走高跳 京谷桃羽 流山南部中 ①1m66

第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 (R7.7.25～29 広島)

男子八種競技 宮下揮一 市立船橋高 ①6325点
 高校記録
 女子200m ハングンハル 市川高 ①23秒36
 女子400m ハングンハル 市川高 ①53秒07
 大会記録

第19回U18・第56回U16陸上競技大会 (R7.10.17～19 三重)

U18

男子300m 金子颯希 木更津総合高 ①33秒34
 男子三段跳 田伏兜真 市立船橋高 ①15m53
 女子300m ハングンハル 市川高 ①37秒88

U16

女子100m 岡嶋莉子 C J A C ①11秒98
 女子150m 山田奈央 御滝中 ①18秒18
 女子走高跳 吉田灯織 C J A C ①1m68

東京2025世界陸上競技選手権大会に出場した千葉県出身またはゆかりの選手 (R7.9.13～9.21 国立競技場)

男子100m	守佑陽	大東文化大	予選	⑦	10秒37
男子110mH	村竹ラシッド	順天堂大→JAL	決勝	⑤	13秒18
女子5000m	山本有真	積水化学	決勝	⑱	15分36秒29
女子20km競歩	岡田久美子	富士通	決勝	⑱	時間30分12秒
女子35km競歩	矢来舞香	千葉興行銀行	決勝	⑳	3時間01分27秒

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323

千葉県総合スポーツセンター

ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内

TEL: 043-252-7311 FAX: 043-252-7314

<http://www.jaaf-chiba.jp/>

発行 一般財団法人 千葉陸上競技協会